



## 2021年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2021年2月12日

上場会社名 日本トムソン株式会社 上場取引所 東  
 コード番号 6480 URL <https://www.ikont.co.jp>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 宮地 茂樹  
 問合せ先責任者 (役職名) 経理部長 (氏名) 牛越 今朝明 TEL 03-3448-5824  
 四半期報告書提出予定日 2021年2月12日  
 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 2021年3月期第3四半期の連結業績(2020年4月1日～2020年12月31日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年3月期第3四半期	31,062	△14.6	△889	—	△774	—	△438	—
2020年3月期第3四半期	36,384	△16.4	1,156	△67.6	1,191	△68.5	474	△82.1

(注)包括利益 2021年3月期第3四半期 785百万円 (58.1%) 2020年3月期第3四半期 496百万円 (△10.0%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年3月期第3四半期	△6.13	—
2020年3月期第3四半期	6.61	6.58

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2021年3月期第3四半期	98,081	57,223	58.2	805.65
2020年3月期	98,118	57,439	58.4	796.63

(参考)自己資本 2021年3月期第3四半期 57,075百万円 2020年3月期 57,291百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年3月期	—	7.50	—	5.00	12.50
2021年3月期	—	4.00	—		
2021年3月期(予想)				4.00	8.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 2021年3月期の連結業績予想(2020年4月1日～2021年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	43,000	△9.4	△700	—	△500	—	△200	—	△2.80

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注)詳細は、添付資料8ページ「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 (3)四半期連結財務諸表に関する注記事項(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

2021年3月期3Q	73,501,425 株	2020年3月期	73,501,425 株
------------	--------------	----------	--------------

② 期末自己株式数

2021年3月期3Q	2,657,905 株	2020年3月期	1,584,793 株
------------	-------------	----------	-------------

③ 期中平均株式数(四半期累計)

2021年3月期3Q	71,445,321 株	2020年3月期3Q	71,770,122 株
------------	--------------	------------	--------------

(注)期末自己株式数には、役員向け株式交付信託および従業員持株ESOP信託の保有する当社株式を含めております(2021年3月期3Q 1,662,300株、2020年3月期 121,700株)。また、期中平均株式数(四半期累計)の計算においては、役員向け株式交付信託および従業員持株ESOP信託の保有する当社株式を控除する自己株式を含めております(2021年3月期3Q 852,644株、2020年3月期3Q 265,388株)。

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・本資料に記載されている業績見通しなどの将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件および業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	P. 2
(1) 経営成績に関する説明	P. 2
(2) 財政状態に関する説明	P. 3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	P. 3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	P. 4
(1) 四半期連結貸借対照表	P. 4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	P. 6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	P. 8
(継続企業の前提に関する注記)	P. 8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	P. 8
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	P. 8
(追加情報)	P. 8

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間における経済情勢は、世界的な新型コロナウイルス感染症の拡大に伴う事業活動の制限により設備投資が抑制されるなど、極めて厳しい状況が続きました。各国の経済活動の再開により生産や輸出は持ち直しの動きが見られたものの、感染再拡大や変異株の出現により再び行動規制措置が強化されるなど、依然として先行き不透明な状況で推移しました。

このような情勢のもとで、当社グループではお客様、取引先および従業員の安全を第一に考え、感染拡大防止の対策を実施した上で、製品供給体制を維持するとともに、「I K O中期経営計画2020 (CHANGE & CHALLENGE ~Next Stage -ACCOMPLISH-)」に掲げる持続的な成長と収益基盤の強化に向けた諸施策の実施や各種業務の効率化を積極的に推進しました。

販売面につきましては、新型コロナウイルス感染症の影響により営業活動に制限を受ける中、Web会議等を活用した柔軟な営業活動により既存顧客との取引深耕を図りました。また、オンライン展示会を開催するなど、新規市場・顧客の開拓にも注力しました。

製品開発面につきましては、真空・クリーン・高温等の厳しい環境下でも優れた潤滑性能を発揮する世界初の軸受用液晶潤滑剤を封入した『液晶潤滑シリーズ』の製作対応形番を拡充するなど、機械装置の性能アップと信頼性向上に貢献する高付加価値製品の研究開発に取り組みました。

生産面につきましては、継続的な現場改善活動により生産性の向上に努めるとともに、生産子会社である優必勝(蘇州)軸承有限公司で「I K Oブランド」製品の生産を押し進めるなど、効率的なグローバル生産体制の構築を図りました。

当社グループの営業状況をみますと、新型コロナウイルス感染症による景気悪化に伴い売上高は前年同期を下回りましたが、足元の受注高は回復傾向にあります。国内市場においては、エレクトロニクス関連機器向けは堅調に推移したものの、工作機械向けなどを中心に売上高は減少しました。北米地域ではエレクトロニクス関連機器向けが好調な一方、輸送機器や市販向けなどが減速し、売上高は減少しました。欧州地域では医療機器向けの需要が増加しましたが、一般産業機械や市販向けなどの低迷により売上高は減少しました。中国では経済活動の再開以降、急速に需要が回復し、売上高は大きく増加しました。その他地域では各国における制限措置の影響もあり、インドや香港、韓国等で売上高は減少しました。

これらの結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は31,062百万円(前年同期比14.6%減)となりました。収益面につきましては、営業活動の制限もあり経費節減に努めましたが、減収・減産の影響等により、営業損失889百万円(前年同期は営業利益1,156百万円)、経常損失774百万円(前年同期は経常利益1,191百万円)、親会社株主に帰属する四半期純損失438百万円(前年同期は親会社株主に帰属する四半期純利益474百万円)となりました。

また、当第3四半期連結累計期間における針状ころ軸受および直動案内機器等(以下「軸受等」)の生産高(平均販売価格による)は27,215百万円(前年同期比22.7%減)となり、軸受等ならびに諸機械部品の受注高は32,471百万円(前年同期比7.8%増)となりました。

セグメントについて、当社グループは、軸受等ならびに諸機械部品の製造販売を主な単一の事業として運営しているため、事業の種類別セグメントおよび事業部門は一括して記載しております。なお、部門別売上高では、軸受等は27,683百万円(前年同期比14.3%減)、諸機械部品は3,379百万円(前年同期比17.2%減)となりました。

## 部門別売上高

(単位：百万円)

区 分	前第3四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)		当第3四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年12月31日)		比 較 増 減	
	金額	比率	金額	比率	金額	伸び率
軸受等	32,302	88.8	27,683	89.1	△4,618	△14.3
諸機械部品	4,081	11.2	3,379	10.9	△702	△17.2
売上高合計	36,384	100.0	31,062	100.0	△5,321	△14.6

(2) 財政状態に関する説明

資産合計は、前連結会計年度末に比べ37百万円減少し98,081百万円となりました。これは主に、現金及び預金1,769百万円、投資有価証券2,040百万円等の増加と、受取手形及び売掛金505百万円、たな卸資産1,030百万円、未収入金599百万円、未収還付法人税等788百万円等の減少によるものであります。

負債合計は、前連結会計年度末に比べ178百万円増加し40,857百万円となりました。これは主に、長期借入金1,776百万円、リース債務371百万円等の増加と、支払手形及び買掛金1,396百万円、未払費用404百万円等の減少によるものであります。

純資産合計は、前連結会計年度末に比べ216百万円減少し57,223百万円となりました。これは主に、自己株式268百万円、その他有価証券評価差額金1,455百万円等の増加と、利益剰余金1,170百万円、為替換算調整勘定298百万円等の減少によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

今後の見通しにつきましては、新型コロナウイルス感染症の収束時期は依然不透明な状況が続いておりますが、エレクトロニクス関連機器向けや医療機器向け等の需要が回復しており、2020年11月12日に公表いたしました通期の連結業績予想を上回る見込みです。このような情勢を踏まえ、通期の連結業績予想につきましては、連結売上高43,000百万円、営業損失700百万円、経常損失500百万円、親会社株主に帰属する当期純損失200百万円といたしました。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2020年12月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	12,924	14,694
受取手形及び売掛金	11,671	11,165
商品及び製品	16,196	15,617
仕掛品	11,122	10,383
原材料及び貯蔵品	6,414	6,702
その他	2,624	1,154
貸倒引当金	△14	△17
流動資産合計	60,940	59,699
固定資産		
有形固定資産		
機械装置及び運搬具（純額）	11,500	11,532
その他（純額）	13,242	13,101
有形固定資産合計	24,742	24,634
無形固定資産		
無形固定資産	2,107	1,786
投資その他の資産		
投資有価証券	6,708	8,749
その他	3,675	3,267
貸倒引当金	△56	△56
投資その他の資産合計	10,328	11,960
固定資産合計	37,178	38,381
資産合計	98,118	98,081

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2020年12月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	7,832	6,435
短期借入金	1,200	1,200
1年内償還予定の社債	-	5,000
1年内返済予定の長期借入金	4,130	4,398
未払法人税等	225	141
役員賞与引当金	63	47
債務保証損失引当金	170	-
その他	4,132	3,929
流動負債合計	17,754	21,151
固定負債		
社債	15,000	10,000
長期借入金	6,876	8,385
退職給付に係る負債	33	17
その他	1,014	1,303
固定負債合計	22,924	19,706
負債合計	40,679	40,857
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	9,533	9,533
資本剰余金	12,886	12,886
利益剰余金	34,988	33,817
自己株式	△828	△1,097
株主資本合計	56,579	55,139
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,365	2,821
繰延ヘッジ損益	0	0
為替換算調整勘定	△494	△792
退職給付に係る調整累計額	△160	△93
その他の包括利益累計額合計	711	1,935
新株予約権	148	148
純資産合計	57,439	57,223
負債純資産合計	98,118	98,081

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

## 四半期連結損益計算書

## 第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自2019年4月1日 至2019年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自2020年4月1日 至2020年12月31日)
売上高	36,384	31,062
売上原価	24,812	22,622
売上総利益	11,572	8,440
販売費及び一般管理費	10,416	9,330
営業利益又は営業損失(△)	1,156	△889
営業外収益		
受取利息	12	13
受取配当金	192	134
受取保険金	122	87
雇用調整助成金	-	278
その他	228	187
営業外収益合計	556	702
営業外費用		
支払利息	71	89
売上割引	42	33
為替差損	338	215
一時帰休費用	-	193
その他	69	55
営業外費用合計	521	587
経常利益又は経常損失(△)	1,191	△774
特別利益		
投資有価証券売却益	52	24
特別利益合計	52	24
税金等調整前四半期純利益又は 税金等調整前四半期純損失(△)	1,244	△749
法人税等	758	△311
四半期純利益又は四半期純損失(△)	485	△438
非支配株主に帰属する四半期純利益	11	-
親会社株主に帰属する四半期純利益又は 親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	474	△438



四半期連結包括利益計算書  
第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年12月31日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	485	△438
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	323	1,455
繰延ヘッジ損益	△2	△0
為替換算調整勘定	△292	△298
退職給付に係る調整額	△16	66
その他の包括利益合計	11	1,223
四半期包括利益	496	785
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	481	785
非支配株主に係る四半期包括利益	15	-

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業的前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

税金費用の計算

税金費用については、当第3四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法を採用しております。ただし、当該見積実効税率を用いて税金費用を計算すると著しく合理性を欠く結果となる場合には、税引前四半期純利益または税引前四半期純損失に法定実効税率を乗じた金額に、繰延税金資産の回収可能性を考慮しております。

(追加情報)

新型コロナウイルス感染症の影響に関する会計上の見積りの仮定

新型コロナウイルス感染症の拡大に伴い、当社グループでも受注減による売上高の減少等が発生しておりますが、当第3四半期連結会計期間にみられた需要回復傾向は今後も継続すると仮定して、会計上の各種見積りを行っております。